



平成27年9月8日

各位

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
 代表者 取締役社長 藤井 晃二
 (コード番号 5660)
 問合せ先責任者 常務取締役総務本部長兼総務部長 藤森 直樹
 (TEL 06-6411-1051)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,600	460	300	130	2.49
今回修正予想(B)	15,000	750	350	80	1.53
増減額(B-A)	400	290	50	△50	
増減率(%)	2.7	63.0	16.7	△38.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	14,027	454	283	95	1.82

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	1,390	1,100	580	11.14
今回修正予想(B)	30,000	1,800	1,200	600	11.52
増減額(B-A)	0	410	100	20	
増減率(%)	0.0	29.5	9.1	3.4	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	28,727	1,212	882	247	4.74

修正の理由

第2 四半期累計期間においては、売上高は民間投資関連需要の持ち直しなどにより当初の予想を若干上回る見込です。諸資材やエネルギーコストの上昇に対しては、高付加価値製品の販売拡大による品種構成の改善に加え、販売価格の是正や徹底したコスト削減に努めたことなどにより、営業利益、経常利益については当初の予想を上回る見込です。しかしながら、海外事業において事業立上げの遅れなどによる持分法による投資損失が拡大する影響などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益については当初の予想を下回る見込です。

通期の業績予想については、第2 四半期累計期間の業績予想修正を踏まえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について当初の予想を修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上